

カンボジアの教員志望学生やその指導教官との交流を通して、教育の更なる発展を支援する 総合文化グループ 岡本義裕 准教授 ゼミ／坂本 愛理菜(国際関係学科・学生)



はじめに

岡本ゼミは、岡本義裕先生のご指導のもと、「教育系のプロジェクト」を行っているゼミです。ここでは、私たちゼミ生がどのような活動に取り組んでいるのかについて具体的に紹介します。少しでも岡本ゼミに興味を持つきっかけになると幸いです。

岡本ゼミってどんなゼミ？

岡本ゼミでは、ゼミ生が「子ども」「教育」「学校」という広い視野から現実的な課題(テーマ)を見出し、目指すゴールを明確に見据えながら、その解決や実現に向けた一連の活動を「ゼミプロジェクト(ゼミ生にとっての探究活動)」と位置づけ取り組んでいます。

こうしたプロジェクトを、過程でのこだわりを持ちながら、また、それに関わる様々な人々とも対話的に交流を広げ連携を深めながら、主体的・創造的・共同的に推進していくことを通して、私たちゼミ生は、今後も「子ども」「教育」「学校」に関心を寄せ、それらの成長・発展・充実へ寄与していく者としての諸力を伸ばしていくことを目指しています。

カンボジアの教育に関する交流・支援のプロジェクト

岡本ゼミでは、「カンボジアの子どもたちの豊かな『学び』を実現するために、現地教員養成校(PTTC)の学生や教官と様々な機会・手段を通して交流・連携し、これから求められる『学び』の在り方について一緒に学び合うとともに、養成校の学生の学修環境の改善を支援する」ことを念頭に置いたプロジェクトに、2020年度から取り組んでいます。これは、JICA 草の根技術協力事業の一環としても位置づけられており、私たちゼミ生は、学生(外大生)ならではの特性を活かし、発想力や行動力を発揮しながら、具体的に以下の3つの班としての活動で、事業全体の推進に寄与しています。



写真1:コンボントム州小学校教員養成校



写真2&3:PTTC の教室と学生たち

① 学修班としての活動

学修班の活動の軸は、カンボジア版探究の学び(IBL)に対する認識を深め、日本の探究の学びとの共通点や相違点を整理しながら、自分たちなりに理解した探究の学びの在り方を模擬授業などの形で具現化し、提案・発信することです。IBL (Inquiry Based Learning) とは、課題探究型の学びとして、生徒が主体となって日常生活と密接に結びつく課題を見出し、体験を取り入れ、対話を通して解決を図っていくものです。10月の訪日研修で学修班は、PTTCの教官の方々の前でIBLとしての英語の模擬授業を提示し、その後で、教官の方々、ゼミ教員、ゼミ生全体で授業について振り返りを行って、IBL教育に対する理解を深め合いました(写真4)。学修班では、こうした授業提案に向け、IBLについての研究や諸準備に毎週のゼミ活動で取り組んでいます。



写真4:訪日研修におけるIBLの模擬授業の様子

② 支援班としての活動

支援班の活動目的は、「コンポントム州小学校教員養成校 (PTTC) の男子寮等を整備するために資金を集め、学生の学修環境の改善に協力すること」です。この目的達成に向けて支援班では、クラウドファンディングでの資金調達、募金イベントや広報活動などの企画実施を行っています。

2023年度は PTTC における環境改善の支援の一環として 6 月 15 日～7 月 31 日にかけてクラウドファンディングを行いました。目標金額の100万円には届かなかったものの、多くの方々からのご支援により233,000 円を集めることができました。また、同時期の 6 月 12 日～6 月 16 日には学内募金を行い、総額 8,808 円となりました(写真5&資料1)。



写真5:学内募金の様子



資料1:クラウドファンディングのポスター

さらに、先日行われた外大祭にも出店し、カンボジアの屋台でもよく見られるという“揚げバナナ(チェーク・チアン)”を販売しました。多くの方々に食べていただくことができ、少しでもカンボジアを身近に感じてもらえる機会になったのではないのでしょうか。販売によって得られた利益は、クラウドファンディングや学内募金同様、カンボジアの教育支援に役立てられます。

③ 交流班としての活動

交流班では、探究の学びの意味や意義、その支援・指導の在り方などについて、教員を目指す学生同士が、お互いの認識を基に意見やアイデアを交換しながら学び合うことを目的として、オンラインでの交流会の企画・実施を主に行っています。

5月と7月には、日本とカンボジアの文化や習慣などについて紹介し合ったり、お互いの学校や教育について英語で自由に話し合ったりしました。今後もこのような交流会の場を設け、IBL や様々な教育問題についての理解をお互いに深められる場にしていくことを目指しています(写真6)。



写真6:オンライン交流会の様子

また、10月の訪日研修の際には PTTC 教官の方々とゼミ生による交流会を企画し、それぞれの活動報告を行ったり、カンボジアと日本それぞれのスイーツを味わったり、一緒にダンスを踊ったりと、楽しい時間を過ごし親睦を深めることができました(写真7)。



写真7:訪日研修での発表・交流会にて

おわりに

これらの活動を企画・運営実施することは簡単ではありませんが、その分、ゼミ生一丸となって活動に取り組むことで大きなやりがいを感じられます。具体的なプロジェクトを通して教育に対する理解を深め、一人一人のさらなる成長を目指しています。今後も岡本ゼミへのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

付記:写真等の資料は、すべて、岡本ゼミの提供・作成による。